

一般質問

「市政 ここが聞きたい」



議会動画配信

12月2日(金)

保育分野の人材確保のために

諸富八千代 (佐賀のり)



保育分野の人材確保は男女共同参画社会の実現、保護者の就業支援からも重要である。①保育士就職支援金給付事業と保育士家賃補助事業の実績は②離職防止、多忙化解消、ICT化推進の取り組みは③養成校へのアプローチは④市の保育行政の基本的な方向性は。

答弁

①保育士就職支援金は令和4年度新規採用者72人に交付、保育士家賃補助金は令和4年11月末で6人の申請②離職防止、多忙化解消のために保育補助者雇上強化事業や保育体制強化事業、ICT推進のために保育所等業務効率化推進事業を実施③私立保育園会で複数の園を見学できるバスツアーを実施。私立幼稚園・認定こども園連合会で学生と園をつなぐマッチングアプリを独自で作成④保育士の仕事のイメージアップを図り魅力ある職場環境づくりに努める。

◆その他◆生理の貧困について



市長の自衛隊受け入れ表明の考えは

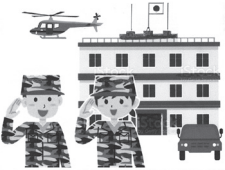
重松 徹 (自由民主党)



市は空港を自衛隊と共用するかどうかの事前協議に入る。当事者の柳川市もJAさかも受け入れには協力し、反対しないことを表明している。市長も空港立地自治体の首長として、県と横並びで自衛隊とオスプレイ配備計画の受け入れをどのように考えるのか。

答弁

防衛省や県の説明会で漁業者から不安の声があったことは承知している。そのような中、有明海漁協が公害防止協定の見直しをされたことは苦渋の決断で大変重いものと受け止めている。今後、漁業への影響や排水問題などの懸念点について、防衛省等から具体的な対応策の説明があると思う。市としてはそれらを確認しながら考えを深め判断していきたい。



9価HPVワクチンの情報提供を！

中島 妙子 (公明党)



子宮頸がんを予防するHPVワクチン接種の積極的勧奨が4月から再開したが①キャッチアップ接種対象者が県外で接種する場合の対応は②既に自費で接種した方への対応は③来年4月から定期接種化される9価ワクチンの情報提供は④未接種者への再勧奨は。

答弁

①事前に市発行の接種依頼書を取得いただき、医療機関に提示することで接種できる。接種費用は一旦自己負担となるが、後で償還払いを行う②接種記録や領収書等を市窓口へ持参いただくことで、接種費用の償還払いを行う③国から接種開始通知が届き次第、個別通知や市ホームページで案内を行う④接種期間の最終年度である高校1年生の未接種者にハガキで案内するとともに、キャッチアップ接種対象者へ令和6年度の早い時期に再勧奨を行いたい。

◆その他◆人権教育・啓発について



※2 9価HPVワクチン…HPVワクチンには2価、4価、9価の3種類のワクチンがあり、2価と4価ワクチンが子宮頸がんの原因の50%から70%を防ぐのに対し、9価は90%防ぐことができるとされている。

※3 キャッチアップ…対象年齢のときに積極的勧奨がなかったため、接種の機会を逃した方に公平な接種機会を確保するための救済措置

12月2日(金)

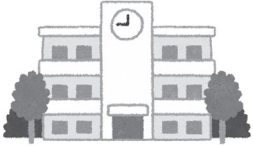
小中学校の統廃合の考え方は

千綿 正明 (自由民主党)



少子化が進行している現在、学年で1クラスしかない学校では子どもの社会性を養うことができない。また、教師不足の現状は学校運営に支障をきたすことになっている。大至急佐賀市の小・中学校の統廃合を考えるべきと思うが。

答弁 学校規模の適正化は、子どもたちが人間性、社会性を育むのに必要な学校規模、通学路の距離や安全対策、学校と地域との連携の3つの視点を持って、また、平成22年8月に佐賀市教育委員会がとりまとめた市立小・中学校の適正配置に関する方針に基づいて取り組んでいる。実際に統廃合が行われたのは平成25年に1件のみである。学校の配置規模の適正化を進める必要があると認識しているが、児童生徒及び未就学児の保護者並びに地域住民と丁寧に進めていく必要があると考えている。



12月5日(月)

交通安全教育の充実に向けて

藤田 佳典 (ネットワーク)



①未就学児への指導は保護者同伴で行うべきだと思うが②ほかの自治体で行われているヘルメット購入時の補助を行うことはできないか③実技講習の内容は更に工夫が必要だと思うが④全国的に自転車保険加入の動きが進んでいるが本市ではどうか。

答弁 ①幼稚園等へ交通安全教室を案内する際、保護者も参加可能な旨を周知し、園児と保護者が一緒に学習できる機会を確保する②現時点で補助制度創設の考えはない。道路交通法の改正を受け、市民に対しヘルメット着用に関する周知啓発を強化する③日々子どもを見守っている地域の交通安全指導員等の意見を取り入れ、より効果的な学習となるよう引き続き随時見直し充実させる④関係機関と連携し街頭活動や交通安全教室等を通して保険加入の周知啓発をする。



◆その他◆へ
ルプカードについて

発達障がい者への支援充実を!!

山田誠一郎 (ネットワーク)



①発達障がい者への支援の現状は②発達支援室の体制は③保護者への支援は④自立のためには就労はとも大切だが、就労支援の現状は⑤今後どのようにに発達障がい者への支援に取り組んでいくのか。

答弁 ①発達障がい者トータルライフ支援検討委員会で、支援の検討を行う。また、発達支援室で、相談対応や関係機関と連携した支援を行う②室長、臨床心理士、保健師の3人体制③佐賀整肢学園への委託で親子教室を開催し、療育機関等につないでいる④一般就労への訓練を行う就労移行支援事業や、就労継続支援A型・B型事業のサービスを紹介している⑤ライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援に取り組む。

◆その他◆ひが
さす周辺の整備
について/市施
設の設備充実
について

佐賀市
こども発達支援
ハンドブック



佐賀市

佐賀空港の自衛隊との共用について

江口 善己 (ネットワーク)



①佐賀県有明海漁業組合の公害防止協定書の見直しについて、市長の見解を求める②川副町の住民説明会をどのように開催するのか③のり養殖で一番の課題である排水対策についての見解は④安全保障環境が厳しさを増す中、米軍の基地使用についての考えは。

答弁 ①漁業者から不安の声がある中、漁協は苦渋の決断をされたことと承知している。市として、様々な懸念点について県や防衛省へしっかりと確認していきたい②市民に寄り添った対応を求めつつ、住民説明会の開催方法などの調整を行っている③実効性のある排水対策がなされるよう、県とともに対応していきたい④漁協での説明会では、米軍の常駐計画はないとの防衛省からの回答があったが、今後改めて確認していく。

◆その他◆佐野常民
生誕200年記念企
画展について/ふる
さと納税について



更なるまちづくりの拠点として！

山口 弘展 (緑橋自民)



①まちづくりにおける校区公民館の位置づけ、役割は②館長の身分が会計年度任用職員となり支障は出ていないのか③公民館は地域コミュニティの核として市民、各種団体と更なる連携が求められる。現状の課題等に向き合い、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 ①地域団体の拠点施設と位置づけ、地域からの要請に応じ手助けや助言を行うとともに、地域団体と密接に連携して地域の課題解決や活性化に取り組む②勤務時間が定められたことによる館長不在時の急を要する判断や相談には、公民館支援課で対応している③公民館が地域団体と車の両輪となり地域を盛り上げていけるように公民館の在り方を検討する中で、人員配置・体制も必要に応じ見直すとともにに研修等で意識の醸成を図る。
◆その他◆はり・きゆう・あんまなどの助成制度について



サンライズパーク文化会館交通対策

川副龍之介 (自由民主党)



①アリーナと文化会館の収容規模は1万1,000人。駐車場整備後の台数は約1,800台と大きな開きがある。整備している駐車場を立体にして増台する考えはあるか②サンライズストリートの歩くスタイルを促すための取り組みをどのように考えているのか。

答弁 ①施設周辺の交通渋滞緩和を目指しており増設は周辺への車両台数の増加につながり難しい②今年のストリートフェスタでマルシェやキッチンカーの出店、ワークショップの開催等今後の活用を想定した取り組みを実施。これによりサンライズストリートの活用は有効であり、通りが持つ可能性に期待を新たにしました。また地元自治会や沿線事業者等との連携の必要性を実感した。今後を見据え来訪者に楽しんで歩いてもらえるよう引き続き取り組んでいきたい。
◆その他◆障がい児教育/盛土対策



村岡 卓 (公明党)



①市内に設置されている公園について、種類別の数と管理方法は②条例では市民一人当たりの都市公園面積が定められているが、現状はどうか③市内でも人口が増えている地域である北部地域には、身近な場所に公園が少ない。今後新たな公園整備の考えはあるか。

答弁 ①公園は都市公園70か所、児童遊園19か所、開発公園447か所、その他公園61か所。管理方法については、都市公園は地元自治会等に委託、児童遊園は地域の老人クラブ等に委託、開発公園とその他公園は地域の住民などで行っている②1人当たり約8平方メートルであり、国の目標値の10平方メートルを下回っている③春日北校区は人口が増えているが一定規模の公園はない。新たな公園整備は、市の財政状況や地域の状況等を勘案しながら判断したい。



福井 章司 (自由民主党)



①佐賀市のカラス対策の経緯は②九州電力のテグス配線協力の効果は③LED電灯による追い払いを経験者に再要請する考えは④音声によるカラスの追い払いの内容は⑤音声により移動したカラスの居場所のリスク管理は⑥ふん害による道路汚染対策を急げ。

答弁 ①一昨年度は夜間にLEDライトの強い光を当て寄り付かせないように対策、昨年度は事業者による線へテグスの新設・修理を依頼した②一定の効果が見られた③反復実施の必要があるため経験者に案内をしたい④カラスの警戒音声を発して追い払いを行う⑤先行事例では高い効果があつたが、一部は元に戻った。戻りが多い場合、工夫した上で実験を継続する⑥市道はパトロールで適宜清掃を行うほか、地元の情報提供でも速やかに行う。
◆その他◆人口減少への対応は/東濠復元工事について



12月6日(火)

神野公園再整備の
進捗を追う！



永渕 史孝 (自由民主党)



①再整備検討委員会の設置の現状は
②子ども園長制度を導入し再整備に子
どもたちの意見を投影してみても③動
物園について幅広い議論を再整備検討
委員会ですべきでは④公園寄贈から
100周年に再整備イメージ図を発表
するべきでは。

答弁 ①現在、立ち上げ準備中。
設置に先立ち、再整備の課題や方
向性を共有するため庁内で議論して
きた②公園を実際に使う子ども達の
意見は、重要と考えている。子ども園
長制度を含めて再整備検討委員会
中で議論していきたい③動物の専門
家に再整備検討委員会の委員として
入ってもらい、関連な議論をして頂
く予定④これまでの思いを尊重し、
今の時代に合った魅力ある公園にな
るイメージを示した
い。



◆その他◆佐賀駅周
辺整備／ネーミング
ライツ制度導入／ゴ
ミカレンダーアプリ
について

12月7日(水)

人と犬猫のより良い
暮らしのために



御厨 洋行 (自民清流)



①地域猫制度とは②飼い猫等の不妊
去勢手術助成とは③犬猫の殺処分や遺
棄を減らすためマイクロチップの装着
が有効と考えるが、どのように啓発し
ているか④犬の健康増進及び適正な飼
い方やルール・マナーを知る機会とな
るドッグランの整備が必要ではないか。

答弁 ①野良猫と地域住民が共存
を図るための制度で、野良猫への
不妊・去勢手術費用に対し1頭当た
り雄猫1万円、雌猫2万円を助成②
飼い主の望まない繁殖で捨てたりし
ないよう、不妊・去勢手術に対し1
頭当たり雄猫2千円、雌猫4千円を
助成③迷子の犬猫が登録情報から飼
い主の元に帰れる可能性が高まるた
め、今後もホームページに加え、窓
口でのチラシ配布など啓発に努める
④現時点では考え
ていないが、同様
の役割の民間施設
もあり、市が整備
する必要など、先
進地等の事例を収
集する。



◆その他◆佐賀空港
への自衛隊オスプレ
イ配備計画／原子力
防災訓練の課題／市
産材活用の災害用ト
イレ

12月7日(水)

学校給食費値上げ
ではなく無償化を



山下 明子 (市民共同)



市の学校給食費値上げの検討は物価
高騰のもと保護者負担軽減に逆行して
いる①給食費改定の影響と負担額は②
給食費を無償化した自治体は5年で76
から220を超えている。佐賀市で無
償化する場合は試算は③自治体予算の
1%未満で実現可能な無償化の実施を。

答弁 ①小学校は年間4,675
円の増。中学校の完全給食は年間5,
490円の増、選択制給食で年間3,
640円の増額となる②今回の改定
額では小学校で約5億9千万円、中
学校の完全給食で約5千万円、選択
制給食で約9千万円、合計で年間約
7億3千万円となる③子育て環境の
充実は大切だが、無償化は継続的な
経費となり厳しい。子育て支援は必
要に応じ総合的にやりたい。



◆その他◆佐賀空港
への自衛隊オスプレ
イ配備計画／原子力
防災訓練の課題／市
産材活用の災害用ト
イレ

12月7日(水)

オスプレイ配備計
画、問題多し!!



松永 恵明 (ネットワーク
佐賀)



①自衛隊との共同訓練等、米軍の基
地利用についての認識は②追加して土
地を購入予定で、排水対策施設の設置
計画があることから、騒音問題の再調
査等を含めた環境アセスメントを実施
すべきでは③地元住民や佐賀市民への
説明会実施に関する考え方は。

答弁 ①約7年前に、当時の防衛
大臣は配備及び移駐の要請を取り下
げたが、活用については全国の他の
空港との横並びで考慮したいと説明
しており、改めて防衛省等に確認し
ていきたい②造成面積が35haを超え
ることがあれば、防衛省により環境
アセスメントが実施されると考えて
おり、改めて防衛省等に確認してい
きたい③防衛省及び県には市民に寄
り添った対応を求め
ており、現在、住民
説明会の開催に向け
て、開催方法や出席
者等の調整を行って
いる。



◆その他◆「学力テ
スト」について

提供：爆音訴訟調査研究センター